

志木市公共施設適正配置計画 ～ 第Ⅱ期 個別施設計画 ～

令和 7(2025)年 2 月 策定

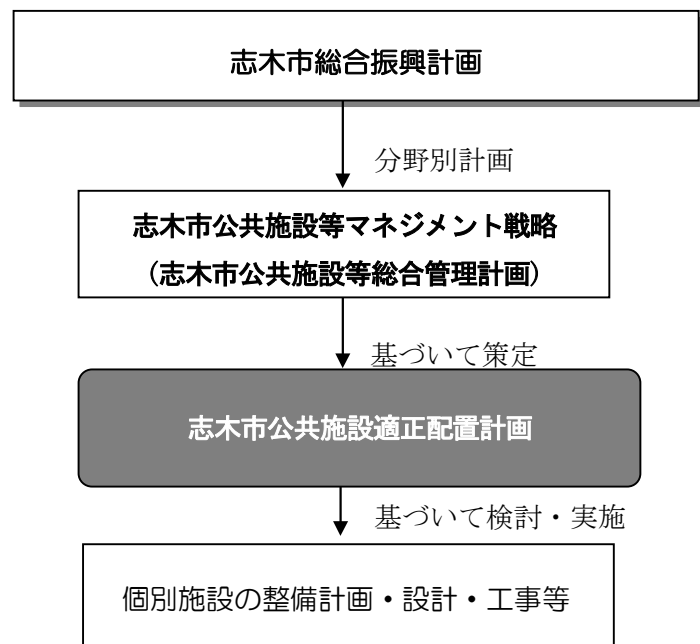
背景と目的

本市では、昭和 40 年代の高度経済成長期を中心に、公共施設及びインフラを整備してきたが、今後、人口減少や少子高齢化の進展に伴う公共施設の利用需要の変化や、老朽化に伴う維持補修経費の増大が予想される。このため本市では、公共施設等の計画的な更新等による財政負担の軽減・平準化を図るため、平成 27 年度に「志木市公共施設等マネジメント戦略」を策定した。

本計画は、志木市公共施設等マネジメント戦略に基づき、個別施設ごとの再配置等に関する具体的な方向性を定めることにより、財政負担の軽減・平準化とサービス水準の維持を両立させながら、公共施設の最適な配置を実現することを目的とする。

計画の位置づけ

本計画は、志木市公共施設等マネジメント戦略に基づく個別施設計画である。本計画に基づき、公共施設の更新・統廃合などを計画的に行う。



計画期間

本計画は、令和 7(2025)年度から令和 16(2034)年度までの 10 年間を計画期間とする。

志木市公共施設等マネジメント戦略(志木市公共施設等総合管理計画) (平成 27(2015)年度～令和 26(2044)年度)		
志木市適正配置計画 ～ 第Ⅰ期 個別施設計画 ～ 【平成 27 年度～令和 6 年度】 (2015 年度～2024 年度)	志木市適正配置計画 ～ 第Ⅱ期 個別施設計画 ～ 【令和 7 年度～令和 16 年度】 (2025 年度～2034 年度)	志木市適正配置計画 ～ 第Ⅲ期 個別施設計画 ～ 【令和 17 年度～令和 26 年度】 (2035 年度～2044 年度)

基本的な考え方

公共施設の適正配置に当たっては、志木市公共施設等マネジメント戦略の基本方針に基づき以下の考え方で取組を進める。

- ・ 更新のピークの平準化が図れるマネジメント方策を適用する
- ・ コンパクトな市域を生かした施設の集約・複合化を積極的に進める
- ・ 民間活力の活用(民営化等)により、サービス水準の維持と総量の削減を両立させる

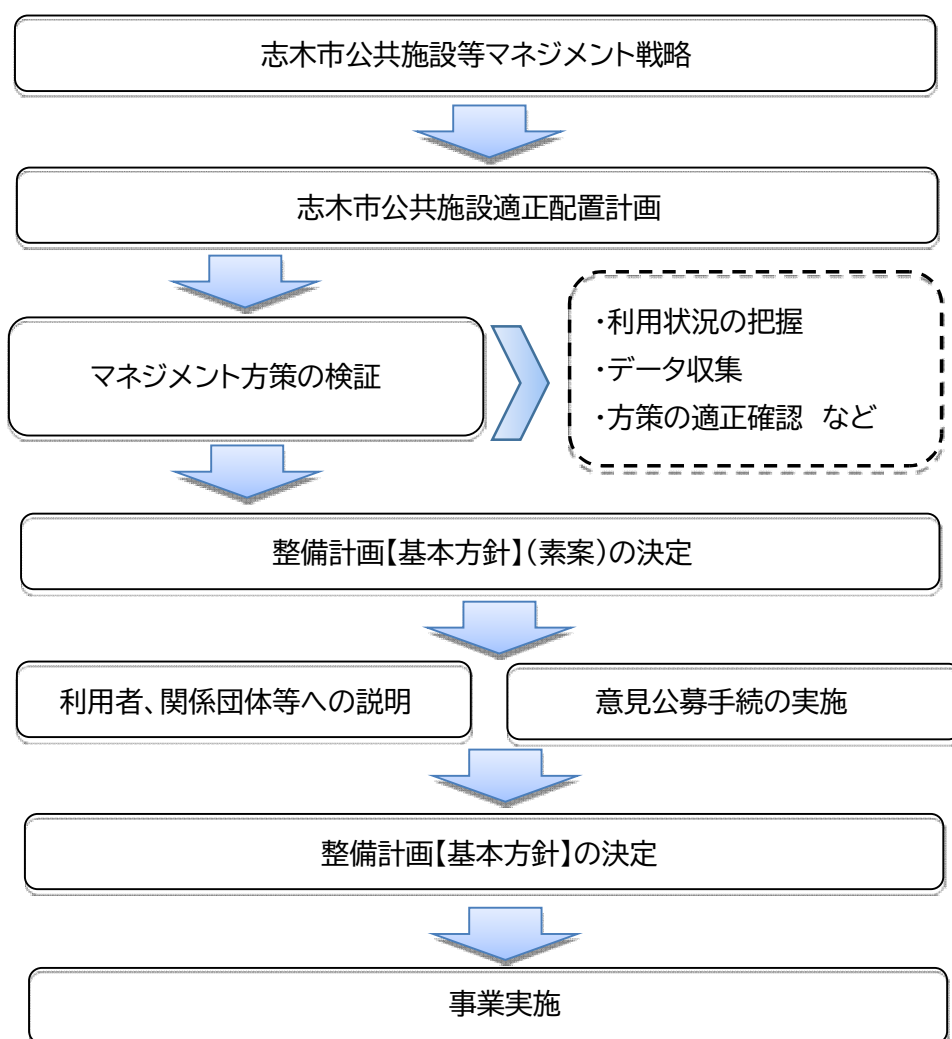
目標

計画期間(令和 7(2025)年度～令和 16(2034)年度)

10 年間の公共施設の総量(延床面積)1.4%削減

実施手順

施設の更新等を具体的に進める際は、以下の手順に従って進めることとする。



実施方針

適正配置に向けたマネジメント方策

個別施設の適正配置に当たっては、施設の状況を踏まえて、以下のマネジメント方策の中から適切なものを選定し、総量(延床面積)の削減を図ることとする。

■ マネジメント方策の一覧

方策	内容
建替え	機能(面積)を効率化して建替えを行う
集約・複合化	施設同士を移転させて建替え(または大規模改修)を行う
転用	他の用途の施設に改修して機能転換する
廃止	取り壊し、売却、譲渡などにより施設を廃止する
民営化	民営化などにより施設を民間に移管する
継続	修繕などをしながら継続使用する

実施プログラムの考え方

適正配置方針に基づき実施するマネジメント方策について、具体的な時期を定めて実施プログラムとして策定する。実施プログラムは、「志木市人口ビジョン」の推計人口を参考として、人口減少を前提として策定するものとする。このため、将来的な人口の推移が推計と乖離した場合、計画も随時、見直すこととする。

計画期間内の取組

第Ⅱ期(令和7(2025)年度～令和16(2034)年度)については、第Ⅰ期計画においてマネジメント方策を未実施の施設、耐震性能が不足している施設及び現在複合化等の計画が進行中の施設について優先的にマネジメント方策を実施する。

そのため、上記以外の施設については、耐用限界年度に達していても、施設の管理状況に応じて継続して使用する場合もあり、その際は第Ⅲ期以降にマネジメント方策を実施する。

マネジメント方策による延床面積削減の考え方

マネジメント方策ごとに、延床面積の削減量を以下の通り設定し、その実現を図る。具体的な削減量は、個別の整備計画(基本方針)策定時に決定する。

■ 延床面積削減の考え方

マネジメント方策	建替え	集約	複合化	転用	廃止	民営化	継続
削減率	10%	40%	30%	0%	100%	100%	0%

第Ⅱ期 個別施設計画対象施設一覧

〈マネジメント方策実施対象施設〉

施 設 名	説 明
市民会館	市民会館を核とした複合化を実施
市民体育館	
郷土資料館	埋蔵文化財保管センターを核とした複合化を実施
埋蔵文化財保管センター	
秋ヶ瀬スポーツセンター	秋ヶ瀬スポーツセンターを核とした複合化を実施
武道館	
いろは保育園	施設規模の縮減を前提としたマネジメント方策の検討
北美保育園	多様化する保育ニーズを見据え、保育施設の集約化の検討
西原保育園	
西原子育て支援センター	西原保育園閉園に伴う廃止
消防団第 1 分団車庫	機能の効率化を考慮し、施設規模の縮減を前提とした建替えの検討
防災倉庫	機能向上のため、用地を踏まえた建て替えの検討

〈改修検討施設〉

旧村山快哉堂、志木小学校、宗岡学童保育クラブ、第二福祉センター、志木駅前自転車駐車場・志木駅東口地下駐車場、柳瀬川駅前自転車駐車場